

サイエンスワンダーランド in 理学部

～ 大学院進学のススメ ～

Vol.27, 2019

大学院での学修を通して総合的思考力を身に付ける

理学部長 野崎浩二



理学部の卒業生の約半数が大学院へ進学します。学部では3年後期以降に各研究室で研究を行います、“研究を経験する”程度です。本格的な研究は大学院で行います。

理工学系の学士課程（学部）教育では主に3年次までに専門知識を修得し、コミュニケーション力のような汎用的技能を身に付けます。その後、研究室での研究指導を通して能力を総合的に使って何かをやり遂げる学習経験をさせ、「総合的思考力」を育成します。これはいわゆる「社会力」につながります。大学院での学修により「総合的思考力」をより確かなものにすることができます。

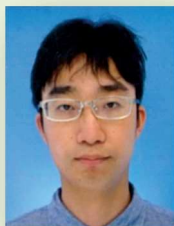
大学院博士前期（修士）課程（2年間）を修了した後はほとんどの人が企業等へ就職します。現在では多くの企業における研究開発要員の採用は主に大学院修了者を対象とします。専門的な知識・技能に加え「総合的思考力」に期待する部分が大きいからでしょう。これは高校教員やその他の職種でも同じだと思います。大学院に進学し、「総合的思考力」を磨いてみてはいかがでしょうか。

行って良かった大学院

川崎地質株式会社 地盤2部広域プロジェクトグループ主任
岳 孝太郎 さん

大学院理工学研究科（博士前期）
地球科学専攻 2016年3月修了

大学院で行う研究には答えが無いです。答えが無いものの答えを見つけるために大学院では、それまで以上に専門知識を身に付けました。そこで得た知識は今の仕事で確実に役立っています。また、分からないことに対して、自分で考え努力したという経験が、何より社会に出てから活きていると思います。



株式会社宇部情報システム CAE サービス部

小島 佑太 さん

大学院創成科学研究科（博士前期）
基盤科学系専攻物理学コース 2019年3月修了

私は現在業務の中で、主にプラスチック部品の成形・評価シミュレーション業務に携わっています。解析結果に対して考察を行う際には、基礎物理を手掛かりとしながら現象の発生原因を考えます。また、解析条件を調べるために、実際に測定に行くこともあります。その際、実験の背景や目的等を考えながら実験計画や装置の作成を行っています。

これは、大学院での研究活動によく似ています。研究目的と実験手法を考えながら得られた結果に対して試行錯誤する、といった経験は、現在私が業務に携わる上で力になっていると感じます。進学する方々はいろんなことを積極的に学び、問題解決能力を身に付けていただきたいと思います。



現役大学院生の活躍

多くの大学院生たちが学会で大活躍しています！

日本地質学会で優秀ポスター賞を受賞

大学院創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻地球科学コース 博士前期課程
中野敬太さん(2年)、榎納吏斐さん(2年)、内田菜月さん(1年)、後藤寛貴さん(1年)



2019年9月22～25日に日本地質学会第126年学術大会を山口大学で開催しました。本学大学院創成科学研究科（地球科学）の学生4人が研究内容およびプレゼンテーションを高く評価されて優秀ポスター賞を受賞しました！

国際学会において優秀論文賞を受賞

“The 9th International Conference on Frontier Computing (FC2019)” Best Paper Award Winner
(2019.7.10)



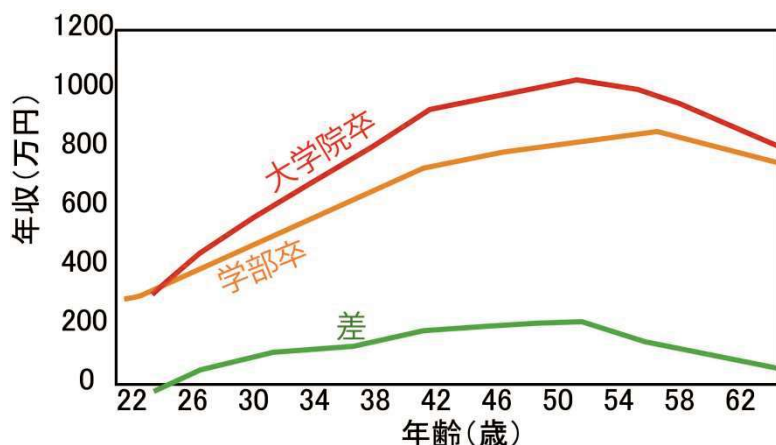
大学院創成科学研究科
基盤科学系専攻情報科学コース
博士前期課程

藤田世哉さん(1年)

大学院卒業生の生涯賃金は？

理系の専門職では、本人の実力によって将来のキャリアが左右されます。そして専門分野においてしっかりと実力を身につけるうえで、大学院進学は極めて有効な選択肢です。そのため、専門職では学部卒よりも大学院卒の方が生涯賃金が高く、キャリアアップも早くなるのが一般的です。右のグラフは、内閣府の経済社会総合研究所が発表した学部卒者と大学院卒者の生涯の賃金カーブです。大学院卒が高めの賃金を得ており、それが数十年続くことによって生涯賃金では大きな差になることがわかります。

もちろん賃金だけが働く意義ではありません。しかし大学院に進学する事で、本人の希望する就職先に入りやすくなりますし、専門職では高く評価されます。高度で責任ある仕事を任されるようになれば、本人の働きがいも増すでしょう。そうして充実したキャリアを歩みつつ正当な対価を受け取ることができるなら、本人と社会とのより良い関係を築く事ができるでしょう。



モデルケースにおける大学院と学部卒業者の生涯賃金推移

(柿沢ほか, 内閣府経済社会総合研究所, 2014)



理学部応援企業からのメッセージ



株式会社 宇部情報システム スマートファクトリー部長／平尾 雅彦 様

現在の日本のモノづくりは、シミュレーションや画像解析、データサイエンスなどの最新技術に支えられているといっても過言ではありません。モノづくりの現場で必要とされる技術に対応できる人材として、理学部で数学・科学の基礎を学び、それらを応用した研究を行い、特に基盤科学専攻系を修了した皆さんに大きな期待をしています。

弊社でも、実際に多くの山口大学理学部や関連する大学院のOB、OGが、大学で学んだ知識をもとに新しい技術に取り組むことで、各種トラブルの原因究明や機器の故障予知、品質の最適化などサイエンスを基盤にした次世代モノづくりをサポートする仕事で活躍しています。

理学部応援企業一覧

理学部は皆様に
支援されています



セントラル硝子株式会社
化学研究所、テルモ山口株式会社、株式会社 宇部情報システム、株式会社 バルボリエステルプロダクツ、株式会社 コア 西日本 e-R&D センター、株式会社 湯田自動車学校、有限会社 デジタル・マイスター、株式会社 星電業社、株式会社 ブラケアジェネティクス、株式会社 富士通山口情報、トゥルージョ株式会社 西日本山口 BPO センター、日本精蝸株式会社徳山工場、鴻理会、林兼産業株式会社、株式会社 アクシア山口、株式会社 フルケア 経営管理部、長府工業株式会社、JRC S株式会社、株式会社 新日配薬品、株式会社 ドーワテクノス、王子ゴム化成株式会社、宇部興産株式会社

順不同

R1.10 月末現在

そして希望の進路に

2018 年度は 74 名の大学院生（博士前期）が
巣立って行きました。

(株)日立製作所、(株)トクヤマ、セントラル硝子(株)、住友電装(株)、長府工業(株)、RPA 株式会社、(株)浅井ゲルマニウム研究所、関東電化工業(株)、早川ゴム(株)、ミヤリサン製薬(株)、西部石油(株)、新日鉄住金化学(株)、西川ゴム工業(株)、東ソー(株)、シャボン玉石けん(株)、東海カーボン(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、リンテック(株)、ニチアス(株)、(株)タムロン、(株)フジクラ、日本ケミコン(株)、(株)テックインテック、長州産業(株)、テルモ山口(株)、西日本旅客鉄道(株)、全日本空輸(株)、(株)富士通山口情報、川重テクノロジー(株)、(株)宇部情報システム、(株)NTT データ・アイ、三菱スペース・ソフトウェア(株)、西日本電信電話(株)、(株)LASSIC(ラシック)、NEC ソリューションイノベーション(株)、(株)アルトナー、日本アイ・ビー・エム(株)、(株)システムライフ、(株)北川鉄工所、林兼産業(株)、倉敷紡績(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)アソウ・アルファ、(株)VSN、サンヨーコンサルタント(株)、(株)アサノ大成基礎エンジニアリング、パシフィックコンサルタンツ(株)、復建調査設計(株)、(株)ダイヤコンサルタント、(株)フジヤマ、福岡県信用農業協同組合連合会、山口県立総合医療センター、笠岡レディースクリニック、内田クリニック(婦人科)、IVF JAPAN GROUP、岩谷産業(株)、トヨタカローラ山口(株)、(株)ハローデ、原子力規制庁、熊本県高校教員、安田女子中学高等学校教員、山口県公立学校教員(中学校)、愛知県高校教員

順不同／2019.3 月実績

「サイエンスワンダーランド in 理学部」は、保護者の皆様と理学部をつなぐ広報誌です。本紙についてのご意見、ご感想、ご要望などありましたら下記までお知らせください。

山口大学理学部学務係

〒753-8512 山口市吉田 1677-1 Tel: 083-933-5210 E-mail: hc135@yamaguchi-u.ac.jp